

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築(2015年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2015 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)麩屋町ホテル計画 新築工事	階数	地上9F
建設地	京都府京都市中京区麩屋町1-141, 142番地一画, 24番地一画, 中京区御所前通西側通2-2番地140-10一画	構造	S造
用途地域	商業地域, 準防火地域	平均居住人員	362 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年6月 予定	評価の実施日	2017年4月14日
敷地面積	1,308 m ²	作成者	(株)ユマ設計
建築面積	874 m ²	確認日	2017年4月14日
延床面積	6,122 m ²	確認者	(株)ユマ設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算 ★★★★★

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合 太陽光発電システムや、高効率な設備機器を採用し、エネルギーの効率的な運用を目指した。また、景観に配慮した意匠・色彩とし、周辺のまちなみとの調和を図った。		その他
Q1 室内環境 シックハウスに配慮した建材を使用。(F★★★★の建材を使用)	Q2 サービス性能 利用者が快適に過ごせるよう、宿泊室の天井高を可能な範囲で高く設定した。	Q3 室外環境(敷地内) 京都市市街地景観条例に適した計画とした。
LR1 エネルギー 太陽光発電システムを採用した。	LR2 資源・マテリアル 地域産木材を一定量使用する計画とした。	LR3 敷地外環境 現行規制基準を満足する計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される